

野菜の作業 冬～春期にかけての品目確保と来年の生産にむけての準備をしましょう！

種まき	定植（植付け）	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ホウレンソウ ・二十日ダイコン ・コマツナ ・シュンギク ・エンドウ ・ソラマメ <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ ・イチゴ <p>など</p>	<p>【パセリーの秋まき直まきトンネル作型の栽培方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑の準備 完熟堆肥 300kg/a、苦土石灰 10～15kg/a（適正 pH5.5～6.8） 基肥 窒素 0.8～1.3kg/a リン酸 2.0～3.0kg/a 加里 0.8～1.3kg/a ・播種 5℃を下回る期間を本葉2～3枚で通過するよう（700m以上で10月中旬頃、500m以下で10月下旬頃）に播種する。発芽率が低いので催芽処理（一晚流水に浸し、は種前に2～3時間くらい陰干）を行います。播種・栽培床に予め十分にかん水し、1穴に5～6粒ずつ点播し、播種後は軽く鎮圧し種子が隠れる程度に薄く覆土します。発芽までは乾燥させないようにし、秋まきは15日前後で発芽揃いになるので適宜間引きを行い、本葉5枚位の時に1本立ちにします。越冬の管理として、生育限界の5℃前後になる12月上旬（標高500m）にト初被覆して越冬を助けます。
	<p>収 穫</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクサイ ・ネギ ・サトイモ ・ダイコン ・ニンジン ・チンゲンサイ ・長芋 <p>など</p>	

●エンドウ・ソラマメの栽培（標高600m以下の秋播き栽培）

・圃場選定

エンドウ、ソラマメともに連作を嫌うのでできれば4～5年は栽培暦のないほ場で、さらに湿害に弱いので排水の良いほ場を選びます。（排水の悪いほ場で作らざるを得ない場合はできるだけ高畦とします。）

・土壌改良・施肥

完熟堆肥 200kg/a、酸性を嫌うので苦土石灰を20kg/a、化成肥料は成分量でチッソ0.7kg/a、リンサン1.2kg/a、カリ0.7kg/aを施し出来るだけ深く耕しておきます。

・播種及び冬期管理

エンドウは、本葉2～4枚、ソラマメは4～5枚で越冬させると凍害を受けにくいので、エンドウは10月下旬～11月上旬、ソラマメは10月下旬に播種します。エンドウは、畦幅150～180cm、株間25cmの1条まき（1穴3～4粒）とし、薄く覆土し発芽後に1～2本に間引きます。

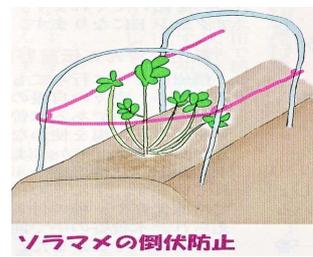
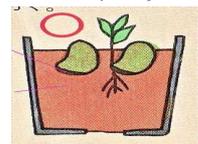
ソラマメはタネが大きく直播きではうまく発芽しない場合があるので育苗したほうが無難です。9cmポットにオハグロを下にして、土に3分の2ほど埋め込み、上に川砂かパーミキュライトなどでタネが見えなくなるくらいの覆土をします。20℃程度の温度で7日位で発芽します。

花芽分化には低温が必要なので、発芽が揃ったら屋外に出します。

育苗日数20～25日本葉2枚頃に畦幅120cm～50cm、株間40cmの1条植えにします。防寒は、モミガラで覆う、わら束で株を両側から挟むなどします。

・春先の管理

エンドウは日照不足で結実不良を起こしやすいので、巻きひげが発生する頃にネットや支柱で誘引し、込み合わないよう枝と枝の間隔を10～15cm空けて光が当たるようにします。ソラマメは1株から10～15本の側枝が伸びてきますが、草丈が50～60cmに伸びてきたら太い枝を残して6～7本に整理します。1本の茎に10節程度着莢したら葉の充実や莢の肥大のために成長点を摘みます。また、倒伏防止のため支柱をたてテープでとめます。



続く・・・

・・・続き（テープはアブラムシ除けにシルバーテープを使用）

追肥は、莢エンドウの場合は土寄せ時・開花時・収穫開始時に、実エンドウ、スナップエンドウは莢肥大期に草勢をみながら中耕・除草、土寄せをかねて追肥を行います。ソラマメは、開花始めの頃に中耕・除草、土寄せをかねて追肥を行います。（チッソ成分で0.3kg/a、速効性肥料）

●種まきごんべいの利用によるハウレンソウの種まき（伊藤組合長さんより）

「あさつゆ」所有の種まき機は、ゴムベルトに播種穴が1.5cm間隔で千鳥に空いています。伊藤組合長さんはこれでハウレンソウを播種しています。穴の径が5ミリですので、丸種の品種で水浸漬をしていないものを播きます。播種後7日は乾かさないように細心の注意を払ってほぼ100%の苗立ちを確保し、間引き労力を軽減しています。播種間隔は、チェンケースとギアケースの組合せで決めますが、どのように落ちるかをアスファルトの上などで確認してください。最大の間隔になるよう組み合わせても多く落ちすぎる場合は、穴をふさいで間隔を広げるなどの工夫をしてみてください。

果樹「りんご」の作業



●「シナノスイート」「シナノゴールド」の収穫

- ・シナノスイートは満開後150日前後が収穫期です。最低気温が17℃以下になると着色が進みます。早くから着色したものや地色が極端にぬけたもの、ワックスの発生が多いものは、心カビ果の可能性が高いので出荷しないようにしてください。
- ・シナノゴールドは満開後155日以後が収穫期です。果実全体が黄色に着色し、十分に味の乗ったものを収穫します。果実の色は明るい時間帯に確認します。

●「ふじの着色管理」

支柱立てや枝つりで日当たりをよくします。葉摘みや玉回しは、収穫開始予定の30～40日前から2～3回に分けて行います。1回目は果実に直接着いている葉を数枚摘む程度とし、着色がすすむにつれ、2回目の葉摘みと玉回しを行います。

質問コーナー

秋播きのハウレンソウの品種について教えてください



農業豆知識

ハウレンソウの秋播き栽培は比較的容易で、様々な品種が種苗会社から出されています。

秋まきお奨め品種

品種名	早晩性	草姿	葉型	葉色	抽台性	低温伸張性	べと病抵抗性	メーカー
メガトン	極早生	立性	中間葉	鮮緑	中早生	優	R1.3	タキイ
強力オーライ	早生	立性	中間葉	濃緑	中生		R1.3	タキイ
ソロモン	早生	立性	中間葉	中	中早生	優	R1.3	サカタ
まほろば	早生	極立性	剣葉	濃緑	中早生			サカタ
スコープ	中生	極立性	剣葉（小葉）	鮮緑	中早生		R1～4	ナント
タキシード7	早生	極立性	剣葉	濃緑	中早生	優	R1～7	ナント
アールフォー	早生	立性	剣葉	濃緑	晩	優	R4	雪印

※低温伸張性が高い品種は生育が進みますので、収穫の幅を広げたいときは他のじっくり生育する品種を選びます。立性が高い品種は収穫作業が楽になります。品種によって色々特徴はありますが、温度管理をこまめにし（日中はしっかり換気）じっくり育てることで味がよく、日持ちのするハウレンソウとなります。

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター
地域生活係 櫻井普及員（Tel.25-7156）